

人を対象とする医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日： 2021年2月4日
研究課題名： 体内微生物の網羅的な遺伝子配列決定による川崎病の発症機構の解明
研究期間：倫理審査承認後～西暦 2025年3月
研究対象： 川崎病の患者さん
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input checked="" type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 鼻咽腔ぬぐい液・糞便・尿等） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（ ） 上記材料の対象期間 西暦 2020年12月～ 2025年3月
意義・目的： 本研究計画では、川崎病罹患患者を対象とし、対象から提供された生体試料（鼻咽腔ぬぐい液・糞便・尿等）からDNAおよびRNAを抽出し、対象の保有する細菌叢およびウイルス叢を分子生物学的に同定します。その結果、川崎病の効果的な治療法の選択や開発、ワクチン開発研究の発展が期待されます。
方法： 川崎病および不全型川崎病患者さんを対象に川崎病の治療開始前に鼻咽腔ぬぐい液・糞便・尿等の生体試料を採取させていただきます。採取は治療前の1回だけで、その後は採取することはありません。また、診療記録から川崎病の診療経過のデータを用いて、川崎病の患者さんの診療経過と体内細菌叢・ウイルス叢の関係も調べます。 生体試料に含まれる核酸(DNA および RNA)の遺伝子配列を解析し、そのなかにいる細菌・ウイルスを同定いたします。採取後の生体試料は個人が特定されないように匿名化したうえで、解析受託会社へ送付され解析されます。そこで得られる核酸配列粗データは、パスワード保護された電子データとして慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センターへ送付され、含まれる細菌・ウイルスの種類や分布を調べます。ご本人の遺伝子の解析は行われず、あくまで細菌とウイルスの解析だけを行います。データはすべて個人情報がかからない形で解析され、個人が特定される形で提供・発表されることはありません。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 小児科 林 大輔（代表番号 029-851-3511）